



真龍小便り

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.9 令和3年10月29日発行

相手を意識すること それは心をこめて伝えること

校長 佐野 哲 哉

風に舞う落ち葉に秋の深まりと近づく冬の到来を予感させる今日この頃。過日の学習発表会にはたくさんの保護者・ご家族の皆様にご来校いただき、温かい声援を賜りましたこと、誠にありがとうございました。振り返ると、どの学年もコロナ禍の制限ある教育活動の中で、学年団の先生方が日々の学習をベースに趣向を凝らした演目を考え、子どもたちの思いやアイデアを取り入れながら、個の高まりと学年全体としての高まりを目指して、限られた時間の中で真剣に練習に取り組みました。一人一人の子が自分の役割をしっかりと担って発表（表現）の質を高めること、個々の高まったパフォーマンスを仲間とつなぎ合うことで学年の発表がよりよいものに高まっていくことを実感しました。各学年のお便りには、子どもたちが自主的に練習に取り組む姿が見て取れます。休み時間に練習したり、うちに帰ってから練習したりする姿から「上手になりたい」「わかりやすく伝えたい」「喜んでもらいたい」という自己を高める気持ちや「相手視点」の意識が感じられます。一人一人のそういう気持ちや努力がつながり合って学年の発表がよりよいものに進化（深化）していく過程に立ち会えたこと、校長としてとてもうれしく思います。実際、20日の児童公開日の発表から2日間の練習を経た24日の保護者公開日の発表は大きく完成度が高まっていました。「相手意識」（観る人に伝える気持ち）を強く持ち、自分の役割をしっかりと果たしながら、仲間と一緒によりよい発表に高めることの喜びを子どもたちが肌で感じていたように思います。各学年の取組の中に、それぞれの学年の発達に相応しい成長が見られました。子どもたちは、いま自分ができることを考え、自主的に練習に取り組んだり、友達と一緒に練習したりして、協働しながら自分の役割をしっかりと果たす中で「一体感」や「達成感」を感じていました。とりわけステージで発表を終え退場するときの子どもたちの晴れ晴れした表情が印象的でした。発表のあと担任の先生に「（発表は）どうだった？」とうれしそうに尋ねる子どもの表情に自信と充実感・達成感が表れており、これまでの練習や本番の発表を通して子どもたちが確実に成長を遂げたことを実感しました。

学習発表会を通して子どもたちは、努力することの大切さとその先にある達成感を実感しながら、自己の役割を果たすことの大切さ、友達と協力して一つのことを創り上げることの尊さ、そして、相手（観てくれる人）を意識して、心をこめて伝えることの大切さを学んでくれたと思います。『笑顔 ～力を合わせて 伝えよう わたしたちの思い～』のテーマのもと、学校全体の思いを一つにして取組を進められたことは本校にとって大きな成果です。子どもたちの意識を醸成し、環境を整えながら緻密な計画のもと取組を積極的に進めてくれた先生方に感謝するとともに、子どもたちの努力やがんばりを支えていただいた保護者の皆様にも厚くお礼申し上げます。学習発表会で身に付けた力をこれからの学習や生活に生かし、一人一人の成長をより確かなものにするよう教職員一丸となって教育活動の質の向上に努めていきます。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

日	曜	11月の主な行事
1	月	講話朝会 二計測・視力検査(1・2年)
2	火	短縮日課 二計測・視力検査(3・4年)
3	水	文化の日 町内小中学校美術書道展(~10日)
4	木	配本日 中休み読み聞かせ(1年) 二計測・視力検査(5・6年)
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	読書週間(~19日)
9	火	短縮日課 スクールカウンセラー来校 クラブ⑤ ほかほかタイム(~19日)
10	水	短縮日課 放課後学習
11	木	宿泊研修1日目
12	金	宿泊研修2日目
13	土	
14	日	
15	月	児童朝会⑥
16	火	短縮日課 学打ち(第31・32週)
17	水	短縮日課 委員会⑨
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	校内作品展開始(~12/3)
23	火	勤労感謝の日
24	水	通常日課 放課後学習 参観日(5・6年) 喫煙防止教室(6年参観日)
25	木	参観日(3・4年) 交通安全指導日
26	金	参観日(1・2年) スクールカウンセラー来校
27	土	
28	日	
29	月	児童朝会⑦ 保護者面談①
30	火	短縮日課

「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

一人一人が輝いた学習発表会

令和3年度、学習発表会が10月20・24日の両日行われました。今年度は、コロナ禍の中での開催となりました。各学年、コロナ対策を行ったため、飛沫が飛ばないように配慮した活動が中心となり、これまでとは少し違う発表内容となりました。この限られた条件の中でも、各担任は、子ども達の思いや気持ちが伝わるよう、発表場面の工夫を凝らしました。そして、子ども達は、しぐさや抑揚など自分の思いを伝える表現豊かな発表を行い、さらに、子ども達の頑張る気持ちを加えることで、見ている人に感動を与える歌・器楽、劇へと仕上げていました。

学習発表会 テーマ

笑顔

～力を合わせて 伝えよう わたしたちの思い～

保護者の皆様には、当日、感染予防のため、各学年の発表ごとに全員一度外へ出ていただく対応をしていただきました。ご不便をおかけしましたが、学習発表会をスムーズに運営することができました。ご協力に、感謝申し上げます。

厚岸町標準学力調査に向けて

12月1日は、厚岸町標準学力調査を、全学年で行います。実施教科は国語、算数の2教科です。

この検査の目的は、子ども達の学力が全国平均と比べてどの程度定着しているかを調べるものです。

学校ではこれまで、子ども達の学力の定着に向け、授業中の姿勢やテストの受け方などについて指導を重ねてきました。また同時に、単元末に復習問題に取り組むことで、学習内容の定着を行って来ました。今後はこの検査をもとに、確かな学力の定着に向け、指導を改善します。各家庭でも、家庭学習の際、お子さんへの「頑張っているね」の言葉がけの協力をお願いします。

防災教室が行われました

10月22日(金)、4年生が防災について学びました。当日は、役場の危機対策室の方から直接お話を伺い、災害が起こった時の厚岸町の動きについて学びました。一例として、津波発生時、避難場所に備蓄庫が設置されており、災害時に活用できるようになっていることを知ることができました。

この学習を通して、子ども達は自分の身は自分で守るという、防災意識を高めています。

造船について学ぶ

10月15日(金)、6年生が運上船舶でキャリア教育を行いました。

子ども達は、造船の様子を目の当たりにし、圧倒されていました。

学習を通して、アルミ船を作る人々の苦労や、様々な課題を解決する工夫や努力について知ることができました。さらに、アルミ船を作ることの素晴らしさや働くことの意義について気づくことができ、これからの自分の生き方を考える基礎を築くことができました。

厚岸町小中美術書道展開催

11月3日(水)より、厚岸町小中学校美術書道展が開催されます。子ども達の頑張りをぜひこの機会にご覧になっていただき、子ども達へ励ましの言葉をかけていただければと思います

期日：11月3日(水)～11月10日(水)

時間：9:00～20:00(10日のみ13:30まで)

場所：厚岸町生活改善センター

スクールカウンセラーさんとお話しませんか？

月に一度スクールカウンセラーの佐々木先生が来校し、児童観察やカウンセリングを行っております。

カウンセリングの内容については、特に決まりはなく、子育て全般に関わり不安に感じていることなど、気軽に相談することができます。希望される方は、学校(52-2113)までお知らせください。11月は9日・26日の予定です。

自転車乗り禁止

10月26日(火)から、今期の自転車乗りが禁止となりました。来春まで、しばらくの間自転車に乗ることはできませんので、お知らせいたします。

コロナ禍の対応について

緊急事態宣言が解除となり、さらに、全国的に新規のコロナ感染者数が減少するなど、一応の落ち着きを見せている所ではあります。しかし、感染のリスクはなくなってはならず、学校内での感染対策は、これまで同様手洗い、換気、放課後の消毒など、感染予防を徹底しています。ご家庭でも、毎朝の検温や家族に風邪症状がある場合の欠席など、お手数をおかけしますがご協力お願いいたします。

学校では、今後も感染予防を徹底し、子ども達の学習を充実するため、工夫を凝らしながら質の高い学校の教育活動を進めていきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

真龍小学校便り おすすめ本(R3.11月号)

『このママにきーめた！』

のびみ/作 (サンマーク社)

真龍おはなし隊 上野佳奈子

まだまだ、コロナで休日や放課後、自宅で過ごす時間が多くなっていますよね。親も子もストレスが溜まっていると思います！

そんな時こそ、今一度、わが子がお腹に宿った時、だんだんお腹が大きくなった時、出産のエピソードを子供に伝えませんか？

テレビ等で、コロナの影響で、学校等でいじめが増えていると報道されています。

コロナで子供達がかかり制限をされていて、更にいじめとなると、心が苦しく、悲しいです。

このコロナの家庭で過ごす時間を逆に happy に使いませんか？

「このママにきーめた！」と一緒に読んで、自分のエピソードと一緒に我が子に生まれてきてくれて、ありがとう、君が生まれてきてくれたから、ママやパパは、幸せと我が子に伝える時間にして欲しい。

きっと、子供達も happy になる。

心が happy だといじめはなくなると信じているので！

親子で happy に！！

